

2016年7月・東北被災地訪問

作成者：鶴谷 賢昭

岩手大学 農学部



岩手大学 三陸復興・地域創生推進機構 地域コミュニティ再建支援班船戸義和特任研究員 「主役は誰？～コミュニティづくりの取り組み～」

自己紹介

2011年4月～ 大船渡市で復興支援活動（2年間）
NGOに所属

- ◆仮設住宅のコミュニティ形成
- ◆自治会設立、公民館建設、夏祭り支援 ほか



船戸 義和（ふなと よしかず）

2013年6月～ 現職
岩手大学三陸復興推進機構 地域コミュニティ再建支援班
災害公営住宅への移行期支援
都市漁村交流プログラム ほか

タイ生まれ
現在の実家は山梨県大月市
好きなこと：サッカー、野球、釣り、写真
専門分野：非営利組織のマネジメント

山田町関係者との交流会 (於)居酒屋 寿司 ささき



山田町 副町長 鈴木裕氏と田中さん



浦辺さんと中島さん



(株)三石水産 三石社長と報告者



民宿 四十八坂荘



今回の視察メンバー



田 老 地 区 土地区画整理事業 完 成 予 想 図



この図は完成イメージです。
実際とは異なる場合があります。

＜お問い合わせ先＞ 宮古市都市整備部都市計画課 ☎68-9105

津波遺構「たろう観光ホテル」



【地震の状況】

- | | |
|--------|--|
| ①発生日時 | 2011(平成23)年3月11日(金)午後2時46分 |
| ②震源地 | 三陸沖北緯38.1度 東経142.9度
牡鹿半島の東南東約130 km付近 |
| ③震源の深さ | 約24km |
| ④地震の規模 | マグニチュード9.0 |
| ⑤最大震度 | 震度5強(宮古市茂市) |

【被災の状況】

たろう観光ホテルは、1986(昭和61)年に建設後、市民や観光客に愛される施設として、営業されてきました。

2011(平成23)年3月11日の東日本大震災で、高さ17メートルを超えるとも言われる津波の被害を受け、4階まで浸水、2階までは柱を残して流失しましたが、倒壊することなく、現在の姿で留まりました。

【遺構としての保存】

被害を受けた建物の取り壊しが進む中、宮古市は、甚大な震災の記憶を風化させることなく、後世に伝えるための「津波遺構」として保存することを決定しました。

2014(平成26)年3月に宮古市が取得、2016(平成28)年3月までに被災した「ありのままの姿を残すこと」を目的とした保存整備工事を終わりました。

今後は、訪れる人々に津波の恐ろしさを伝え、訪れる人々の防災意識を高めることにより、震災による被害が繰り返されないことへと繋がるよう、現在の姿のまま保存していきます。

現在の「たろう観光ホテル」





JFたろう製氷貯氷施設
明治・昭和・平成 津波到達点比較

明治・昭和の津波到達点





「たろう観光ホテル」の裏の避難路

完成した高台の団地



宮古観光文化交流会協会 「学ぶ防災」 第一防潮堤上で解説している佐々木さん







嵩上げて修復した第一防潮堤



14mの防潮堤の工事中



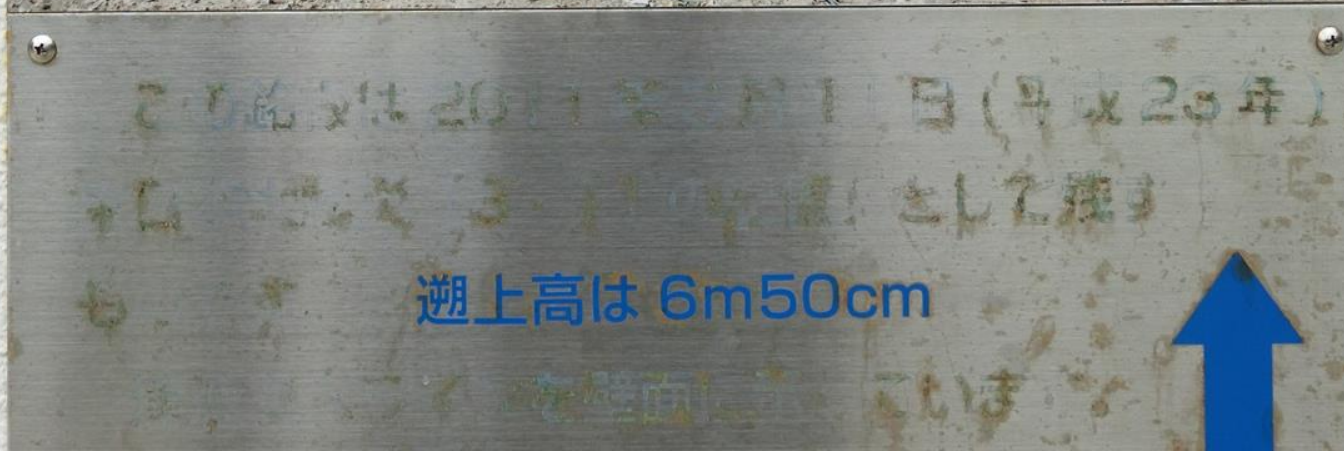


浄土ヶ浜レストハウス





平成 23 年 3 月末 撮影



この施設は 2011 年 3 月 11 日 (平成 23 年)

東日本大震災により被災し、壊壊した建物

遡上高は 6m50cm





二日目の宿泊場所「さんずろ家」



大槌町・波板海岸～砂浜が津波で消失

山田町の復興状況



建設中の復興住宅(山田町)



山田町の新旧の防潮堤







山田町の既存の防潮堤

復興が完了した山田漁港の岸壁





高台に移転した船越小学校





大槌町 Otsuchi Town

大槌繁栄の歴史は大槌川、小槌川、浪板川、3つの川によって育まれた歴史といっても過言ではありません。

大槌に遡上する鮭がもたらした新巻鮭の歴史、山の養分が注がれる大槌湾の豊かな海の恵み。その途中の町方(かつての街中)ではいたるところで湧水が自噴する全国でも希な沿岸都市でした。

町民の様々な生活と密接に関わるこの豊かな「水」の文化はまさに大槌町の自然遺産ともいえます。

大槌町商工観光課
TEL 0193-42-2111

大槌町町方地区震災復興事業



海が見えるつい散歩したくなる
こだわりのある美しいまち



大槌町

独立行政法人都市再生機構

前田・日本国土・日特・パスコ・応用地質共同企業体

大槌町の復興状況を説明する
大土町 総務部 危機管理室
渡邊義明主査



津波に襲われた旧大槌町役場
町役場の前に対策本部を設置していたため
町長以下40名の職員が命を失った



現在の大槌町役場



ひょっこりひょうたん島のモデルなった島

東京大学 海洋研究所

二階まで津波の被害にあったが三階は被害を免れたため現在も使用中である





大槌湾の防潮堤の残骸



復興工事が完成した大槌漁港の岸壁



「釜石の奇跡」 震災一年後の釜石東中学校



釜石東中学校・鵜住居小学校の生徒が
避難した700mの坂道



標高10m地点にあった福祉施設



福祉施設より400m先の標高30mの施設に避難した



平成20年に完成した海底63m・水面上6m
の防波堤を見下ろす観音様

陸前高田の奇跡の一本松



陸前高田市役所の仮庁舎





陸前高田市の嵩上げ状況



陸前高田市の復興復興住宅



4年前の気仙沼の高校



現在の気仙沼～高校は廃校

気仙沼港







気仙沼港～岸壁は復旧済み





男山

・この建物(男山本店店舗)は国登録有形文化財です。

・国内外の募金により応急修理されています。

平成24(2012)年度の応急修理工事が実施されました。





気仙沼嵩上げ状況



気仙沼南町紫市場



4年ぶりの再会～気仙沼南町一区自治会長